



2024年2月の活動

2月は大きく2つの活動がありました。まず、23日(金)に「リーグワン参入記念祝賀会」をホテルマリタール創世久留米にて開催いたしました。パートナー企業のみなさまをはじめ、多くのサポーターのみなさまにご参加いただきました。また、25日(日)には、浮羽実真館高校で中学生を対象としたラグビーの大会「ルリーロカップ」を開催しました。

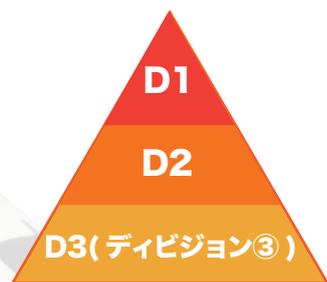
リーグワン参入記念祝賀会

祝賀会では、代表の島川よりシーズン報告が行われました。

【リーグワン参入】

リーグワンは現状、ディビジョン①12チーム、ディビジョン②6チーム、ディビジョン③5チームで構成されています。ルリーロ福岡は2024年12月よりスタートするシーズンでディビジョン③への参入が決定しました。

リーグワン構成図



ルリーロ福岡はD3に参入

【ルリーロの立ち位置】

リーグワンのほとんどすべての企業は大企業で構成されており、ディビジョン①については、営業利益も「兆」円の世界。そんな中で地域密着のルリーロの挑戦がはじまります。お金では勝てなくても、スポーツになれば話は変わります。地域対大企業の構図に日本ラグビー界も注目しています。

【地域対大企業】

リーグワンの掲げるビジョンに「あなたの街から、世界最高をつくる」があります。ルリーロ福岡はまさにこのビジョンを最も体現しているチームと言えます。リーグワンにおいて、従来のスポンサーと呼ばれる立ち位置の企業は、「社会価値を実現するパートナー」と定義されています。ルリーロは立ち上げ当初から、サポーターだけでなく企業のみなさまのことを「パートナー」とお呼びすることにこだわっており、その部分が上手くマッチしました。

さらに、選手たちは、単なる競技者ではなく、「リーグ価値の実現者」と定義されています。ルリーロでは、選手たちは競技者としてだけでなく、地域の企業で働くことや、イベントへ参加することで価値を生み出してくれています。特に、2023年の豪雨による水害の際は、日頃のトレーニングを活かして、復旧のボランティアに参加しました。まさに、リーグの価値を実現するような地域密着のチームの姿だと考えています。

【今後と目標】

チーム立ち上げから、リーグワンを目標としてきました。ここから数年間は、「九州・アジアのチャンピオンチーム」を目標として活動していきます。ルリーロ福岡は、リーグワンという日本国内の枠組みにとらわれず、世界に羽ばたくチームとして今後も成長していきたいと考えています。

ルリーロカップ

25日(日)のルリーロカップは、昨年引き続き2回目の開催となりました。昨年と比較して、多くのラグビースクールに参加いただくことができました。各スクールへ、ルリーロの選手と浮羽実真館ラグビー部の選手がアテンドとして割り振られ、ウォーミングアップを手伝ったり、ラグビーのスキルを教えたりする姿が見ら

れました。大会のレベルも高く、激しいコントラクトプレーや、大人顔負けのパスなど、観戦の面でも楽しめる大会となりました。この大会で活躍した選手たちが、浮羽実真館高校のラグビー部や、ルリーロ福岡に入団してラグビーしたいと思えるようにしたいと改めて感じさせていただきました。

おわりに

ルリーロ福岡は、「感動笑夢」を届け、「We have wings」を届け、いつでも、どこでも何度でもチャレンジできる社会」というチームビジョンを実現するため、今後リーグワンの舞台へチャレンジします！

また、リーグワンのビジョンである「あなたの街から世界最高をつくる」を体現し、うきは市はじめホストエリアの皆さまが誇れるチームになれるよう、選手、スタッフ一同精進して参ります。

引き続き地域のみなさまのご支援・ご声援をどうぞよろしく願います。



今後の予定はルリーロ福岡公式ホームページをCheck ▶

